



# 静岡市立両河内小中学校



## 出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和5年8月29日(火)

「実物に『触れる』という体験で、昔の人々の暮らしをより身近に感じることができました。」

静岡市立両河内小中学校の6年生13人が、体験活動を通して、縄文・弥生時代の人々の生活への理解を深める目的で、発掘調査と周辺遺跡の話、土器の分類、石器の試し切り、火起こしの4つの活動を行いました。

### 発掘調査と 周辺遺跡の話



「土器など、昔のものは割れていたり汚れていたりするので、きれいに元通りにするのは、すごく大変だということが分かった。」

埋蔵文化財センターの業務内容と両河内小中学校周辺の遺跡について話しました。発掘調査の話に興味津々で、とても集中して聞いていました。また、学校の近くにもお城があることを初めて知り、今度行ってみようでした。



### 土器の分類体験



縄文土器・弥生土器・須恵器の3種類の土器片を、完形土器と見比べて分けました。土器の種類によって、色や厚さが違うことを体験できました。

「教科書で見ていた土器を実際に見られて触ることができて感動した。」



### 石器の試し切り体験



「石で切るの難しいと思っていたけど、思ったより野菜がしっかり切れてびっくりした。」

出土した打製石器、磨製石器、黒曜石を手にとったり、黒曜石で野菜を切ったりして、石器を作った昔の人のすごさを実感しました。



### 火起こし体験



主に3つの火起こしの方法を紹介し、舞割り法での火起こしをしました。弾み車を回す手が疲れてくると2人で協力して回していました。火がついたときは、とてもうれしそうでした。火起こしがこんなに大変なことだということを体験してみて理解できました。

「火をつけるときに、こんなに疲れるということを知りました。火がついたときはすごく嬉しかったです。」



### 先生方の感想

「歴史の授業で学んだことについて、体験的な活動を通してより理解が深まりました。実物に『触れる』という体験で、昔の人々の暮らしをより身近に感じることができました。2時間という限られた時間で様々な体験を効率よく行っていただきました。多くの子どもたちに直接声をかけてアドバイスをいただいたので、器用ではない子どもでも体験活動に取り組みやすかったです。お忙しい中ありがとうございました。来年度もぜひお願いしたいです。」

